をちこち百貨店
ochicochi department park

PRESS RELEASE
報道関係者各位
2026年11月　株式会社東風吹かば

閉店したスーパーを「屋根のある公園」に。丹波篠山・東部六地区の旧Aコープ ハートピアが「をちこち百貨店」として2027年早春開業へ

> 住民とともに育てる"百貨店"へ。2026年11月より改修工事に着手し、
> まずは食堂、お弁当・惣菜の販売からスタート

株式会社東風吹かば（本社：兵庫県丹波篠山市、代表取締役：村山恵一）は、2024年2月に閉店した旧「Aコープ ハートピア」（丹波篠山市細工所）を改修し、食堂を核とした地域の居場所「をちこち百貨店」として再生します。地域の要請から生まれた会社が、閉店したスーパーの跡地を、買い物の場としてではなく「誰もが過ごせる居場所」としてよみがえらせる取り組みです。2026年11月より改修工事に着手。2027年早春の開業を目指します。





▲左：赤い塔のある八角屋根が目印。里山を背に建つこの建物が「をちこち百貨店」に生まれ変わります
　右上：田園と里山が広がる、丹波篠山市の東部六地区　右下：2024年2月の閉店から2年半あまり。明かりが消えたままの旧Aコープ ハートピア正面（改修前）

■ 背景：暮らしを支えてきた店が閉店

丹波篠山市の東部六地区（後川・日置・雲部・福住・村雲・大芋）は、人口約5,700人の過疎地域です。JA丹波ささやまが運営していた食料品店「Aコープ ハートピア」は、長く地域の暮らしを支えてきましたが、2024年2月27日に閉店しました。

閉店後、最寄りの食料品店まで片道10km以上かかる集落も生まれています。失われたのは買い物の場だけではありません。住民どうしが顔を合わせる機会や、子どもたちの遊び場も少なくなりつつあります。

この事業は、事業者の発案から始まったものではありません。跡地の活用を担ってほしいという東部六地区地域協議会からの要請を受け、その受け皿として2025年3月に設立したのが、株式会社東風吹かばです。

コンセプトは「屋根のある公園」

をちこち百貨店が目指すのは、お金を払わなくても、用事がなくても、誰もがふらっと立ち寄れる場所です。商業施設でありながら、買い物をしなくても過ごせることを前提にしている点が、この施設のいちばんの特徴です。掲げる言葉は「をちこちが溶け合う、一人ひとりの居場所」。お店というより公園に近い施設であることから、英字表記は department store をもじった「ochicochi department park」としました。

まずは食堂から。「みんなで育てる百貨店」

百貨店と名乗りながら、開業時にあるのは食堂だけです。最初からすべてをそろえるのではなく、住民の声を聞きながら、一つずつ機能を増やしていきます。

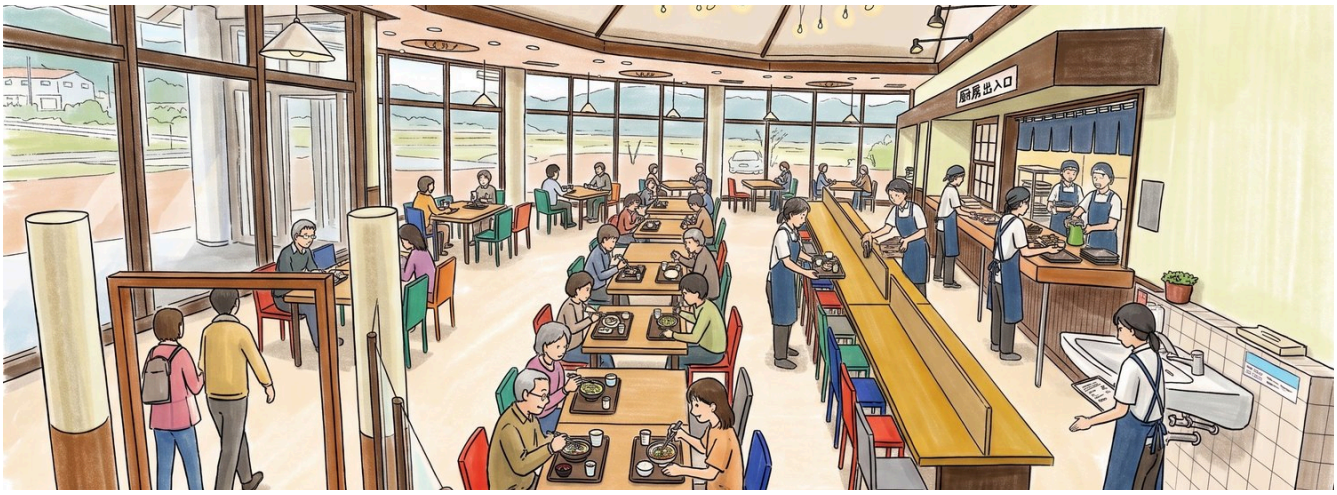
開業時

食堂。地域の食材を活かした定食と惣菜、弁当の販売、コーヒーやスイーツの提供 等

その後、順次

地域の農産物・加工品の販売、子どもの遊び場、チャレンジショップ、コワーキングスペース、イベントスペースなど

食堂の運営には、旧雲部小学校を拠点に弁当・惣菜の製造販売を続けてきた「里山工房くもべ」のノウハウを生かします。



▲食堂の完成イメージ（イラスト）。実際の仕上がりとは異なる場合があります

地域にもたらすもの

をちこち百貨店は、食堂ひとつで次の4つの役割を担います。

日々の食を支える

定食や惣菜、弁当を、歩いて・車ですぐの距離で買えるようにします。近隣の事業所への昼食弁当の配達も予定しています。

顔を合わせる場を取り戻す

用事がなくても通える場所があることで、住民どうしがお互いの様子に気づけるようになります。

働く場をつくる

開業に向けてスタッフを募集しており、地域に新しい仕事を生み出します。

地域の資源を生かす

米や黒豆をはじめ、東部六地区で育った農産物を食堂の献立に取り入れます。この土地の恵みを日々の食事として味わえる場をつくり、地域の農業と食文化を次の世代へつなぎます。

スーパーの閉店は、全国の過疎地域が直面している課題です。小さく始めて住民と育てていくこの方法が、同じ悩みを持つ地域の参考になることを目指しています。

名前の由来

「をちこち」は「あちこち」を意味する古語です。遠い場所と近い場所、昔と今をつなぐ場所でありたいという思いを込めました。食堂ひとつから始めて、百の楽しみがある場所へ育てていきます。

代表コメント

「私はこの東部六地区の大芋で生まれ育ちました。ハートピアは、買い物の場であると同時に、誰かと顔を合わせる場でもありました。その灯が消えたままになっていることを、地域の多くの人が気にかけてきました。

最初からすべてをそろえることはできません。だからこそ、地域のみなさんと一緒に、一つずつ育てていきたいと考えています。用事がなくても来られる、屋根のある公園のような場所を、ここにつくります。」

株式会社東風吹かば 代表取締役　村山恵一

最新情報の発信について

改修工事の進み具合や開業日、メニューなどの最新情報は、地域メディア「をちこち手帖」と公式Instagramで順次お知らせします。「をちこち手帖」は、東風吹かばが運営する東部六地区のローカルメディアです。大阪・京都から丹波篠山への「東の玄関口」にあたるこの地域の、地元の人でさえ忘れかけている土地の話や食の話を、残し伝えることを大切に発信しています。

をちこち手帖	https://journal.ochicochi.net
公式Instagram	https://www.instagram.com/ochicochi_dp/

施設概要

名称	をちこち百貨店 （ochicochi department park）
所在地	兵庫県丹波篠山市細工所121 （旧Aコープ ハートピア）
面積	約400㎡
開業	2027年早春（予定）
開業時の内容	食堂（定食・惣菜・弁当、カフェ）。以降、機能を順次拡大
運営	株式会社東風吹かば
リンク集	https://linktr.ee/ochicochi

会社概要

会社名	株式会社東風吹かば
所在地	兵庫県丹波篠山市中500
代表者	代表取締役　村山恵一
設立	2025年3月21日
事業内容	をちこち百貨店の運営、総務省モデル事業「ふるさとミライカレッジ」の運営（2025年度）、地域メディア「をちこち手帖」の運営
URL	https://cochi-fukaba.co.jp

本件に関するお問い合わせ
株式会社東風吹かば　担当：村山
メール：murayama@cochi-fukaba.co.jp

東風吹かば
cochi-fukaba